

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：事務局費

事業名 岐阜県立高等学校活性化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画第二係 電話番号：058-272-1111(内8519)

E-mail：c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 900 千円 (前年度予算額：900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	0	0	0	0	0	0	0	900
要求額	900	0	0	0	0	0	0	0	900
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県の附属機関「県立高等学校活性化計画策定委員会(H26~27)」の報告を受け、高校の具体的な活性化策を含めた各年度の「検討まとめ」を発表するとともに、県民の理解を促進する。

(2) 事業内容

第3次岐阜県教育ビジョンにおける基本方針のひとつである「ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成」に位置づけられる「県立高校の魅力化」の視点を踏まえ、高校の具体的な活性化策を計画、発表し、それらを含めた各年度の「検討まとめ」を発表することで高校改革に対する県民の理解を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県立高等学校の活性化として県が主体となって推進しており、設置者である県の負担により実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	318	業務旅費
需用費	547	資料作成費、パンフレット印刷費
役員費	25	電話代、郵便代
使用料	10	会場借上料
合計	900	

決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」の公開の際に記載します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョン（R1～5）

- ・基本方針1 ギフへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
- 目標6 未来を創り出す人材を育成する学校づくりと地域との連携の推進

(2) 国・他県の状況

・中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（R3.1.26）がとりまとめられ、新時代に対応した高等学校教育等の在り方について、高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化が進められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 高校の特性に応じた各校の具体的活性化策を含む各年度の「検討まとめ」を発表し、県民の理解を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県の附属機関から提出された「審議まとめ」に対する意見聴取を実施し、県立高等学校活性化の基本方針を含む「検討まとめ」を発表しており、それをもとに、各校における具体的活性化策の計画、準備をする段階であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	ふるさと教育関連事業による活力ある高校づくり推進事業の継続 令和3年度実施の活性化策の検討、準備。 令和4年度実施の学科改編等の検討、準備。
令和 3 年度	ふるさと教育関連事業による活力ある高校づくり推進事業の継続 令和4年度実施の活性化策の検討、準備。 令和5年度実施の学科改編等の検討、準備。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	今後の中学校卒業予定者数の急減の中、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要であるため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	検討まとめを公表することにより、県立高校活性化の方向性が明確となり、これに基づいた具体的な活性化策の検討が、各校で行われている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	具体的な活性化策について学校とともに検討を進め、順次、学科改編等の具体的活性化策を公表していくこととしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 今後、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 個別の活性化策を含めた「検討まとめ」を、年度ごとに発表する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 実績	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--